
ミニエッセイ「神に感謝」

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「ハニエッセイ」神に感謝

【Zコード】

「Z3441」

【作者名】

「ほんライス

【あらすじ】

聖騎士さんの活動報告を読んで思いつきました。

世の中には書きたくても書けない人が大勢ある。貧しくて教育を十分に受けられず字が書けないちびっこ。寝たきり老人。高い教養を持つてるけど、陛下などは立場上あまり思ったことを自由に書けない。

その点、オレは幸せである。アマチュアなので原稿料をもらえないだから書きたくないなどと嘆いても、それはアイデアが出ないこの言い訳に過ぎない。

まったく神に感謝をせねばならぬ。

しかし、そんなオレでも悩みはそりやはある。

24時間書けないことである。

非正規労働の職場で書けないのはもちろんのこと、寝ているときも書けない。

からうじて電車やバスで移動中は書ける。しかし、原付を運転しているときは書けない。書けば事故る。自慰をしてるときも書けないし、キヤッチボールをしてるときも泳いでるときも書けない。家に火をつけるときも見つからいかきどきどきどき緊張してるので書けない。無論、その後、逮捕され警察に取り調べを受けるときは書けない。書いていたら、刑事さんに怒られる。歩きながらケータイをぽちぽち打ち執筆するときもあるが、『雨や雪やあられが降つてるときは無理だ。ボインの女性を発見したときやもうだめだ。股間が暴れ出し、気がつけばケータイを放り投げ女性のお尻目掛けで腰を振っている。

まったくもつて不満である。

ただそうした色々な出来事が小説を書くエネルギーになつてゐることは否めない。何も経験がなければ物語は書けない。執筆を阻害するものは世の中にたくさんあるが、それはすべてネタになる。オレにとって世界は大きな書斎である。

これも神に感謝せねばなるまい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3441/>

ミニエッセイ「神に感謝」

2010年10月10日18時17分発行